

富山県立乳児院通信



— 令和2年 秋号 —

● 発行元 ●

日本赤十字社富山県支部受託
富山県立乳児院
富山市牛島本町2丁目1番38号
電話 076-432-8137
FAX 076-432-8238

理念 児童福祉法及び児童憲章に基づき、安全できる良質な生活の場を提供します。



乳児院農園のプリンスメロン
40個ほど収穫できました。
とっても甘くておいしかったです。

〈富山県立乳児院ってどんなところ?〉

いろいろな事情より、家庭で育てることができない乳幼児
(0～3歳まで)を保護者にかわって24時間養育する施設です。
(児童福祉法37条に規定された児童福祉施設です。)



七夕まつり

今年の七夕まつりは、生後3ヵ月から2歳までの子どもが色とりどりの甚平を着ました。「かわいい!!」の歓声があちこちから聞こえ賑やかに始まりました。「たなばたさま」の歌に合わせ、口ずさんだり踊ったりして楽しんだ後は、お待ちかねのおやつタイム♥。アイスクリーム（可愛いカップに桃を添えて）を夢中になって食べました。パネルシアターは、集中して見ることができ、お話の内容に楽しく応えていました。七夕や季節にちなんだコーナー遊びでは、「くぐる、歩く、ジャンプ」などの運動、プールの中のボールや、魚すくい、笹の葉にシールを貼ったり飾りを付けたりと子どもたちは好きなコーナーを回り、思いっきり遊んでいました。最後には幼児7人に1冊ずつ絵本のプレゼントがあり、大喜びの日になりました。

楽しかったプール遊び

今年の夏はあつかった～!! テラスにプールを準備していると、窓に張り付き目を輝かせて注目する子どもたち。水着に着替えるとわれ先にテラスに出ていきます。水鉄砲やペットボトルシャワーなど、好きな玩具を選んで楽しめます。水しぶきが顔にかかるたびびっくりする子もいましたが、すぐに慣れ「キャハハ!」と楽しい笑い声が響きました。小さい部屋のお友達も水着に着替えスタンバイOK。足を濡らしただけで泣きだしましたが、1回2回と回数を重ねる度笑顔が見られ、お風呂でもバシャバシャしていました。





楽しかったね！運動遊び 一院内たんけんー

9月18日(金) 今年は月齢や人数を考慮し、運動会ではなく院内たんけんを行いました。押し車に乗って出発し、階段下に駐車。階段を登り2階にはお菓子屋さんがありました。好きなお菓子を3つ自分で選びますが「どれにしようかな・・・」と、なかなか決められません。食べ終わったら1階へ戻り、色々な部屋を回りブドウ狩り、リンゴ狩り、芋掘りを楽しんだり、おばけやウィルスを一ピコ一ピコハンマーでたたいて退治しました。みんなよく動いて遊んで汗びっしょり！昼食はサンドウィッチのバイキング!! 子どもたちは目を輝かせ、自分で選んだサンドウィッチをほおばって「おかわり！」とあちらこちらから声が聞かれました。楽しくておいしい「たんけん」でした。



管理栄養士より

もぐもぐだより

毎月、お誕生会にバースデーケーキを作ります。生クリーム(脂肪分)は消化に時間がかかるので、赤ちゃんの内臓負担を軽減するためにも、水切りヨーグルトを代用するのがおすすめです。スポンジケーキは市販のものを使用しています。ヨーグルトが無糖でも、スポンジケーキの甘味とフルーツで充分おいしいです☆



これからの行事予定

10月

えんそく

ハロウィン

11月

七五三

12月

クリスマス会

ご寄付、ご寄贈 ありがとうございます。

お 名 前	
<7月>	山本 悦子さん（愛知県）よしだ医院 院長 吉田 誠さん（富山県） 株式会社明治さん（東京都）一般社団法人 AP バンクさん（東京都）美谷 明子さん（富山県）門司 一徹さん（東京都）山田 裕佳さん（富山県）松井 篤さん（富山県） 長谷川 昌子さん（富山県）
<8月>	近江 龍一郎さん（富山県）竹下 絵里奈さん（富山県）柳 祥代さん（東京都） 宮崎 良子さん（富山県）成瀬 幸一さん（富山県）赤羽 祐美さん（東京都）
<9月>	ヨシモトさん（埼玉県）高林 尚広さん（富山県）白川 佳奈子さん（富山県） 熊谷 笑佳さん（愛知県）神田 由香さん（富山県）木村 明日美さん（東京都） 竹田 達矢さん（富山県）株式会社 KANAYA 代表取締役 松井 勝馬さん（富山県）

富山県里親支援機関事務局 より

『家族がはぐくむ笑顔』—その25— ～置いていった手紙～

以前私たちは、ふたりの子どもたちを預かっていました。ふたりは、実の兄妹で上は男の子、下は女の子でした。小学校2年と3年のときに預かり、中学校2年と3年になるまで7年間いっしょに暮らしていました。ふたりはうちに来るまで、実親と暮らしていましたから、私たちと暮らすようになってからも、学校の休み期間、年3回毎回1日ずつ実親といっしょに過ごしていました。

でも時が経つにつれて、私たちとの暮らしに慣れていきました。時々兄妹けんかもしながら、元気に学校に行っていました。新しい友達もでき、部活動も頑張っていました。し

かし、事情があり中学校の段階で他県で暮らすことが決まりました。

8月の暑い日でした。児童相談所の方がおいでになり、二人はバイバイ!と手を振って出て行きました。そのとき下の子が「後で読んで。」と手紙をくれました。手紙には、『長い間、育ててくれてありがとう。ここで生活していて、けんかができないことが分かりました。』と書いてありました。私たちとは、よく口けんかをしていたので、けんかの相手は実親だとすぐに気づきました。

長い間、里親の家で暮らしていても、本当はお父さん、お母さんと暮らしたい。何をされても、されなく

ても、本当のお父さん、お母さんと暮らして甘えたい、けんかもしたい。それほどの深いつながりを欲しかったけどもらえなかった。そう、理解しています。

実親と暮らしたかった思いが伝わり、声をあげて泣いてしまいました。私たちがそれに代わるだけの深いつながりができなかった残念さもありました。

ふたりとは、笑顔で別れました。預かったときから見れば、よく育ったものだと思います。さみしさを乗り越えて、頑張っていると思います。



病児保育室 お ひ さ ま

0歳～未就学児のお子さんと、病気や病気回復期にあるため集団保育や家庭での保育ができない時に、一時的にお預かりする保育室です。

利用時間 月曜日～金曜日 7:30～18:00
(ただし、祝日、5/1、12/29～1/3 は除く)

利 用 料 1回2000円（昼食・おやつ代含む）
とやまっ子子育て応援券の利用できます。
富山市ひとり親家庭病児保育利用料助成制度の利用も可能です。



富山県では新型コロナウイルス感染症との同時流行を防ぐため、インフルエンザワクチン接種の助成事業が始まりました。かかりつけ医とご相談のうえ、是非お子さんの予防接種をご検討下さい。

お問合せ 076-432-8137 まで（7:30～21:00）